

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈4月末現在〉

農業▷8人 教育魅力化▷2人
起業型▷7人 協働型▷7人 スポーツ▷1人

起業型協力隊

てらさわ こうへい
寺沢 航平さん

着任：令和7年4月（1年目）
出身：苫小牧市



—これまでの経歴について教えてください。

苫小牧中央高校を卒業後、地元の水道設備会社で3年間働きました。その傍ら、4歳から続けてきたATV（All Terrain Vehicle、四輪バギー）のレースにも取り組んできました。今年1月からは、国内最高峰のプロクラスで活動しています。練習拠点は浜厚真のオフロードパークで、道内で最も盛んな競技コースです。

—厚真町での挑戦を考えるようになったきっかけは？

中学生の頃から、四輪バギーを通じて地元を盛り上げたいという思いがありました。しかし、ATVはまだマイナーで、競技人口は減っています。それを自分の手で変えたいと強く思うようになり、「山でもバギーに乗れる施設を作りたい」と考えるようになりました。そんな時、母が、厚真町の「ローカルベンチャースクール（LVS）」があることを教えてくれて、すぐに応募しようと決めました。

—なぜ厚真町で起業しようと思ったのですか？

浜厚真には練習拠点がおり、自分のチームや人脈もあ

ります。だからこそ、厚真が一番ふさわしいと思いました。バギーの乗車体験イベントを通じて楽しさを広め、選手を育成し、地域を盛り上げることが目標です。普段活動している浜厚真のオフロードパーク以外の場所でも、事業を展開していきたいと考えています。

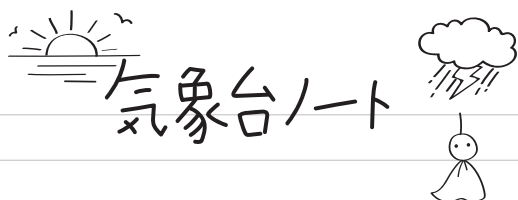
—LVSに参加してみてどうでしたか？

これまで出会ったことのない経営者や起業家の方と話ができ、自分のやりたいことを肯定的に受け止めてもらったのがうれしかったです。自分の想いを言葉に託し、楽しく伝えられたことは大きな経験でした。「落ちても一生の経験になる」と思い、本気で挑戦しました。

—今後の目標を教えてください。

まずは、山でバギーに乗れる場所を確保し、2年目にはコースづくりを進め、秋にはレジャー施設としてオープンさせたいです。最終的には「ATVといえば名実共に厚真」と言われるような場所にしたいです。海か森か、選べる環境で大自然を楽しめる一。そんなスポットをつくるのが夢です。まずは地域の人に知ってもらうために、イベントへの参加やボランティア活動から始めます！

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報をはじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



气象台ノート

大雨に備えて

「早期注意情報（警報級の可能性）」の活用

气象台が発表している防災気象情報の一つに「早期注意情報（警報級の可能性）」があります。これは、発表当日から最大5日先までの期間に胆振・日高地方で警報級の気象現象が予想される場合に、その可能性を「高」、 「中」の2段階で1日ごとにお知らせするもので、「警戒レベル1」の情報です。

早期注意情報「高」は、警報を発表中、または警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までに「高」の予想があるときは、危険度

が高まる時間帯を確認してください。また「中」は、「高」ほど可能性は高くありませんが、命に危険をおよぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までに「中」の予想があるときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。



早期注意情報は
室蘭地方气象台のホームページ
から確認できます。

トップページの天気予報
→天気予報（一覧表）下部の早期注意情報へ

※パソコンの場合はメインメニューの
防災情報から